



土砂などの除去作業をする会員ら

### 馬淵川源流祈願祭前に 観光協会員で環境整備

馬淵川源流祈願祭を前に5月21日、葛巻町観光協会（遠藤裕樹会長・団体会員10団体、個人会員17人）は源流公園の環境整備を行いました。今年の冬は豪雪だったので倒木がひどく、また雪の重みで鳥居や周辺の木柵が傾くなど大きな被害がありましたが、参加した会員が力を合わせ環境美化に努めました。

あいにく悪天候の中での作業でしたが、終了後には「整備して見晴らしも良くなった」「源流祈願祭前にきれいに出来て良かった」「これで観光客にも気持ちよく来てもらえる」と、会員も満足していました。



最後に「上を向いて歩こう」を歌う出演者ら

### 熱いステージ繰り広げ 復興支援チャリティー

東日本大震災の復興支援チャリティーイベント「今・私達にできること」（グリーンテージくすまき主催）は4月30日、グリーンテージで行われました。

このチャリティーイベントには、町内の音楽グループなどが出演。被災地へのエールを込めた熱いステージが繰り広げられ、詰めかけた約100人の観客は久しぶりのにぎやかな雰囲気を楽しみました。このイベントの会費4,000円のうち500円が義援金として被災地へ寄付されました。

【出演者】モウモウブラザーズ、音楽館、橘和徳さん、葦名バンド

### 体協で総合型スポーツクラブ始動

NPO法人葛巻町体育協会（近藤彰顕会長）は「総合型スポーツクラブ」を「葛巻型」として協会内に設立、今年度から本格的な活動を開始しました。



バランスボールを使い体をほぐす健康アップ教室

同クラブの坂本牧子アシスタントマネージャーは、「今まで体協が実施してきたスポーツの事業や教室をベースに、年間を通じて活動できるメニューを準備しています。どんどん参加してください」とPRしました。

### 小屋瀬少年消防クラブが操法訓練

小屋瀬少年消防クラブ（クラブ員28人）では、5月18日から5日間、軽可搬ポンプ操法の訓練をしました。

6年生の指揮者・遠藤大樹さんと操作員の5人は、訓練服を着用し気持ちも引き締める子どもたち規律や操作方法など葛巻分署員から指導を受け、動作のひとつひとつをしっかりと確認しました。



訓練服を着用し気持ちも引き締める子どもたち

この成果は、5月28日の小屋瀬小学校運動会で、保護者や地域の方々に披露され、防火意識を高めました。

### 野田村から一時避難の 方々とひしもちづくり

更生保護女性の会（阿部貞子代表・会員6人）は5月9日、東日本大震災により野田村からグリーンテージへ一時避難している方々を招き、総合センターで「ひしもち」を一緒に作り、郷土食を楽しみました。

「ひしもち」は小麦粉をこね、中に黒砂糖とくるみ、みそをいれるものですが、「おらほでは、ひゅーすもちっていうなあす」「よくだんごを作って孫に食べさせています」など作りながらの会話も弾みました。5月が旬の「あいこ」や「こごみ」などの山菜も調理され、一緒に山の幸を堪能しました。



なごやかに会話をしながらひしもちづくりをしました



柏崎署長④から指定書を受け取る村田生徒会長

### 江刈中学校が自転車の マナーアップモデル校

江刈中学校（川村俊校長・生徒44人）は、「平成23年度自転車マナーアップモデル校」として指定を受け、5月13日、同校体育館でモデル校指定書の交付式が行われました。

柏崎建一岩手警察署長から生徒会長の村田大成さん（3年）に指定書が渡されました。柏崎署長は「地域の方々も皆さんの活動を注目しています。模範となるように頑張ってください」と激励しました。続いて「私たち44人全員が、交通安全を守り、しっかり頑張っていきたい」と村田生徒会長は決意を述べました。指定期間は平成24年3月31日までとなっています。



千田葛巻駐在所長④の指導を受ける高校生ら

### 葛巻高校でバイク講習会 安全運転の基本操作学ぶ

葛巻高校（高松博明校長・生徒156人）のバイク実技講習会は5月12日、町総合運動公園駐車場で行われ、安全運転のための基本操作などを学びました。

同校では、通学距離が6キロ以上の生徒に2年生からバイク通学を許可しており、2～3年生の37人が受講。葛巻駐在所の警察官3人と二輪車安全運転普及協会岩手支部の会員2人の指導で、乗車姿勢や点検などを学んだ後、スラローム走行や急制動の仕方、一本橋走行などの訓練をしました。竹川由紀さん（2年）は「スピードをコントロールするのが難しいです」と真剣に取り組んでいました。